

平成25年度

運営に関する計画・自己評価（最終反省）

大阪市立夕陽丘中学校

平成26年2月

平成25年度 運営に関する計画・自己評価

[学校経営の重点]

「生きる力」を育む、感動ある教育活動を推進し、思いやりあふれる学校をめざす。

重点目標

元気アップ地域本部と連携して、生徒に社会に対する関心を持たせる取り組みを進める。

《具体的方策》

1. 基礎的・基本的な内容の確実な定着と、それらを活用する学習活動を充実し、自ら考え、意欲的に解決する力を育む。
2. 豊かな体験的活動を通して、個性を尊重し、互いに支え合う集団の育成を図り、思いやる心や感動する心を育む。
3. 自らの健康や体力に関心をもち、健康でたくましい心身を養い、自律的な生活習慣や態度を育む。
4. 今日的課題に対応する教育を充実し、自らの判断で、生きるべき道を選択し、決定できるよう、社会の変化に的確に対応できる力を育む。
5. 地域・保護者の学校支援体制を構築し、家庭や地域の教育力を活かした教育活動を進めるなかで、地域の一員である自覚と感謝する心を育む。

《努力目標》

何事も「心」をこめて行動しよう。

1. 気持ちよく挨拶のできる生徒
2. 心をこめて人の話の聞ける生徒
3. ルールやマナーを守る生徒

1. 学校運営の中期的目標

【視点 学力の向上】

- 平成 28 年度の全国学力・学習状況調査における「普段の授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていると思いますか。」の項目について「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を 40%以上にする。 (カリキュラム改革関連)
- 平成 27 年度までに全教科において小学校との教科間連携を実施する。 (マネジメント改革関連)
- 平成 27 年度には、テスト前学習に参加する生徒の割合を 15%にする。 (カリキュラム改革関連)

【視点 道徳心・社会性の育成】

- 毎年度末の校内調査において遅刻生徒の数を、毎年、前年度より減少させる。 (カリキュラム改革関連)
- 平成 28 年度の全国学力・学習状況調査における「人の気持ちがわかる人間になりたいと思いますか」の項目について「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を 95%以上にする。 (カリキュラム改革関連)
- 平成 28 年度の全国学力・学習状況調査における「今住んでいる地域の行事に参加していますか」の項目について「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を 35%以上にする。 (ガバナンス改革関連)

【視点 健康・体力の保持増進】

- 平成 27 年度末の校内アンケートにおける「清掃活動を積極的に取り組んでいる。」の項目について、「よくあてはまる（ややあてはまる）」と答える生徒の割合を 85%以上にする。 (カリキュラム改革関連)
- 平成 27 年度末の校内アンケートにおける「体調面での自己管理ができています。」の項目について、「よくあてはまる（ややあてはまる）」と答える生徒の割合を 80%以上にする。 (カリキュラム改革関連)
- 検診で分かった症状の受診率 100%をめざす。 (カリキュラム改革関連)

2. 中期的目標の達成に向けた年度目標

【視点 学力の向上】

- ①平成 26 年度の全国学力・学習状況調査における「普段の授業では、生徒の間に話し合う活動をよく行っていると思いますか。」の項目について「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を 37%以上にする。 (カリキュラム改革関連)
- ②平成 25 年度中には、3 教科で校区小学校と連携を図り、指導法について研修し、相互の授業参観を実施する。 (マネジメント改革関連)
- ③テスト前学習に参加する生徒の数を前年度より 2%あげる。 (カリキュラム改革関連)

【視点 道徳心・社会性の育成】

- ①平成 25 年度末の校内調査において遅刻生徒の数を前年度より減少させる。 (カリキュラム改革関連)
- ②平成 26 年度の全国学力・学習状況調査における「人の気持ちがわかる人間になりたいと思いますか」の項目について「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を 92%以上にする。 (カリキュラム改革関連)
- ③平成 26 年度の全国学力・学習状況調査における「今住んでいる地域の行事に参加していますか」の項目について「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を 32%以上にする。 (ガバナンス改革関連)

【視点 健康・体力の保持増進】

- ①平成 25 年度末の校内アンケートにおける「清掃活動を積極的に取り組んでいる。」の項目について、「よくあてはまる（ややあてはまる）」と答える生徒の割合を 82%以上にする。 (カリキュラム改革関連)
- ②平成 25 年度末の校内アンケートにおける「体調面での自己管理ができています。」の項目について、「よくあてはまる（ややあてはまる）」と答える生徒の割合を 75%以上にする。 (カリキュラム改革関連)
- ③検診で分かった症状の受診率 80%をめざす。 (カリキュラム改革関連)

3. 本年度の自己評価結果の総括

- ・生徒の学力の向上は、教員の授業力の向上と考え、今年度も、授業改善に取り組んだ。校内授業研究と研究協議は、全教員が参加し充実しており、若手教員の育成にもなっている。相互授業参観については充分とはいえなかったため、時期や期間の見直しを図る。
- ・集団育成として、ピア・サポート活動の研修を全教職員で取り組んだ。全学年に広げ、さらに充実させたい。基本的な生活習慣の育成には全教職員で取り組んでいるが、遅刻、服装が充分でない生徒がみられた。26年度も、引き続き全体の共通理解のもと全教職員が同じ姿勢で取り組んでいく。
- ・清掃指導を通し、子どもの心を育てるために、クリーンアップ大作戦を地域や保護者の力を借りて取り組んだ。クリーンアップ大作戦で学習したことが、日常の清掃活動に活かすことができるよう指導を継続していく。
- ・学校元気アップ地域本部と連携をはかり、「ボランティア活動（地域行事への参加）」、「夕陽丘カルチャー教室（日本文化体験学習）」を実施した。地域の人材を活用し、生徒に社会の関心を持たせるよう取り組んだ。26年度は、教職員組織と地域本部との連携を強め、教育活動を充実させたい。

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標を達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【視点 学力の向上】</p> <p>①平成 26 年度の全国学力・学習状況調査における「普段の授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていると思いますか。」の項目について「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を 37%以上にする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>②平成 25 年度末には、3 教科で校区小学校と連携を図り、指導法について研修し、相互の授業参観を実施する。 (マネジメント改革関連)</p> <p>③テスト前学習に参加する生徒の数を前年度より 2%あげる。 (カリキュラム改革関連)</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【ICT機器の活用】 ICT機器の活用に向けた研修を行い、授業で用いることができるよう知識・技術力をアップさせる。ICT機器を用いた授業を実践し、生徒の表現力を高める。</p> <p>-----</p> <p>指標 年度中 1 回 ICT機器の活用に向けた校内研修会を実施。</p>	B
<p>取組内容②【小中連携】 校区小学校との連携を強化し、相互の授業参観を実施し、研修を行うことで教科のスキルアップを図る。</p> <p>-----</p> <p>指標 年度中 1 回小中で相互参観を実施し、研究協議を一緒に行う。 長期休業中に 1 回小中連携の会議を実施する。</p>	B
<p>取組内容③【補充学習の充実】 定期テスト前の放課後にテスト前学習の時間をとり、生徒に呼びかけ実施する。</p> <p>-----</p> <p>指標 年間 5 回の定期テストごとにテスト前学習を実施する。</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

- ①授業形態や教材・教具を工夫しながら授業に臨み、言語力の育成を図っており、生徒の活発な意見が出てきている。ICT機器の有効的な活用を進めるための校内研修を実施し、今後の活用に向けてスキルアップを図った。
- ②1学期に小中連絡会と初めての試みとなる小中教職員総会を実施し、小中の連携を強化することができた。小学校の先生に研究授業とその後の研究協議にも参加してもらった。
- ③テスト前学習が複数の教科にわたって実施され生徒の積極的な参加が見られた。

次年度への改善点

- ICT機器の活用については学校全体で長所を活かすような活用を考える。
- 小中連携を更に深め、子ども達を9年間のスパンで育てられるような関係を築く。

年度目標	達成状況
<p>【視点 道徳心・社会性の育成】</p> <p>①平成 25 年度末の校内調査において遅刻生徒の数を前年度より減少させる。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>②平成 26 年度の全国学力・学習状況調査における「人の気持ちがわかる人間になりたいと思いますか」の項目について「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を 92%以上にする。(カリキュラム改革関連)</p> <p>③平成 26 年度の全国学力・学習状況調査における「今住んでいる地域の行事に参加していますか」の項目について「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を 32%以上にする。(ガバナンス改革関連)</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【生活習慣の確立】</p> <p>学期はじめに集会週間をとり生活リズムを取り戻す。毎朝の風紀当番で風紀委員に遅刻の統計をとり、風紀カードを発行させる。</p> <p>指標 月 1 回の遅刻の統計を集計して、風紀通信の形で発行する。担任の先生がクラスに促す。</p>	B
<p>取組内容②【道徳心の育成】</p> <p>ピアサポート、道徳副教材の積極的な活用、福祉体験をはじめとする年間行事の深化充実をはかる。</p> <p>指標 各学年、学期に 1 回実施する。</p>	B
<p>取組内容③【社会性の育成】</p> <p>元気アップ事業との連携、天王寺ジュニアボランティアへの参加など地域とのかかわりを働きかける。</p> <p>指標 生徒会主催で地域の清掃活動に取り組む。 年に 2 回地域の清掃活動を行う。</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<p>年度目標を念頭においた指導の①～③にすべて取り組むことはできた。</p> <p>①について、風紀委員が当番制で、服装・遅刻のチェックにあたっているが、現状として大幅に遅刻者の数は減らない。まだまだ取り組み方が足りないように感じる。</p>

次年度への改善点
<p>①風紀カードの活用がしきれていない。日常の様子を保護者と連携して、改善していくための活用を全体化して取り組む必要がある。(保護者印をもらうカードにするとか・・・)</p> <p>③清掃プロジェクトについては、来年度も続けていく。</p>

年度目標	達成状況
<p>【視点 健康・体力の保持増進】</p> <p>①平成 25 年度末の校内アンケートにおける「清掃活動を積極的に取り組んでいる。」の項目について、「よくあてはまる（ややあてはまる）」と答える生徒の割合を 82%以上にする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>②平成 25 年度末の校内アンケートにおける「体調面での自己管理ができています」の項目について、「よくあてはまる（ややあてはまる）」と答える生徒の割合を 75%以上にする。 (カリキュラム改革関連)</p> <p>③検診で分かった症状の受診率 80%をめざす。 (カリキュラム改革関連)</p>	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【美化環境整備】</p> <p>毎日の清掃活動と各学期末の大掃除やクリーンアップ大作戦などで美化意識の啓発を行う。</p> <p>-----</p> <p>指標</p> <p>美化委員を活性化させ、清掃点検を行う。</p>	B
<p>取組内容②【健康な生活習慣の確立】</p> <p>毎日の生活の中での手洗いうがいの習慣が身につくよう指導する。</p> <p>-----</p> <p>指標</p> <p>生徒保健委員会等で健康チェックを行い健康への意識付けを行う。</p>	B
<p>取組内容③【健康に関する現代的課題への対応】</p> <p>「保健だより」を活用し、病気やケガについての啓発を行う。</p> <p>-----</p> <p>指標</p> <p>「保健だより」を毎月発行する。</p>	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<ul style="list-style-type: none"> ○ 美化委員会で、清掃点検カードをつくり、定期的な清掃点検を計画している。 ○ カゼ・インフルエンザの流行する時期に、保健委員会による健康チェックを実施し、健康への意識付けを行った。 ○ 「保健だより」を毎月発行し、病気やケガについての啓発を行った。

次年度への改善点
<ul style="list-style-type: none"> ○ 美化委員会・保健委員会の活動をより活発にし、美化や健康増進の意識を高める必要がある。